

そな

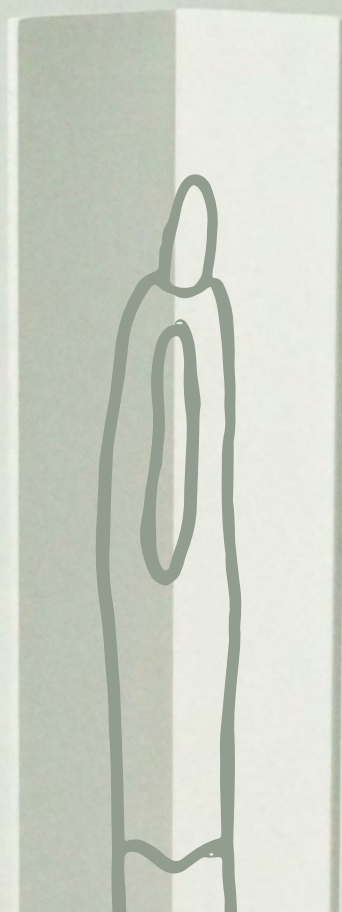
具

え

る

モノには本来持っている機能や役割がある。しかし、それとは違う価値も具えている。壁は本来、空間を仕切ることができる価値を具えている。そこに人がもたれると、壁にはもたれることができるという新たな価値が具わる。人々が無意識に行う行為の中にはそのモノが具えている潜在的な価値を引き出すことがある。その潜在的な価値を見つけることは見慣れているはずのモノに新鮮さを与える。価値は身近なところに具わっている。あなたが少し意識するだけでそれは顔を出す。私は「かど」が具える価値をデザインした。

THE CORNER for pen



「かど」が具える価値

「かど」はお互いピッタリ合わさる。
隙間なく、無駄なく。
「かど」はもの同士の関係を安定させる力を具えている。

「かど」にものを立てかける。
不安定なものを安定させる。
「かど」はものを安定させる力を具えている。

ついつい「かど」を探しちゃう。
横一列に並んだ席があると人々はどこに座るだろうか。
席替えの時、最も人気な席はどこだろうか。
「かど」には人々の心をも安定させる力を具えている。

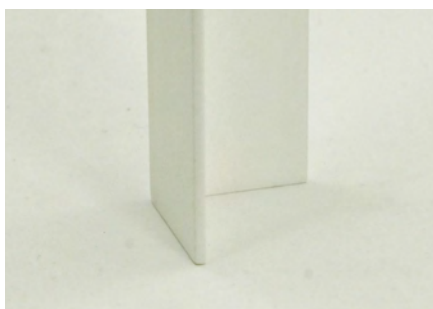
ペン立てとしての「かど」

「かど」が具えている、モノを立てかけやすいという価値をデザインした。机の上に「かど」があり、そこにペンを立てかければそれはペン立てとなる。という発想から生まれた「かど」である。



デザイン詳細

「かど」の要素のみを残し、無駄なものを削ぎ取ったシンプルなデザインである。新しいカタチではなくどこかで見たことがある形だが、そこには「立てかける」という新たな価値が含まれている。



THE CORNER for ...

「かど」に立てかけるものは自由である。そこにペンを立てかければ for pen となり、歯ブラシを立てかければ for toothbrush となる。

